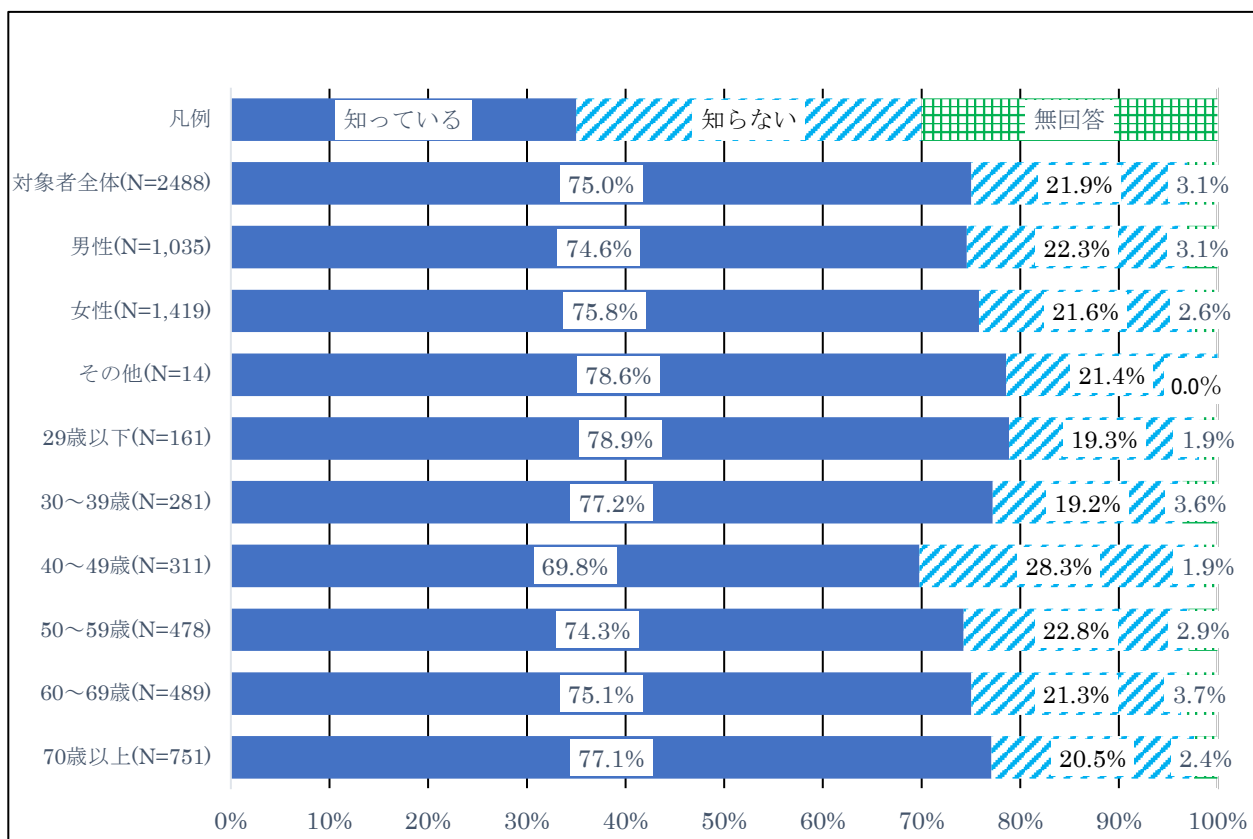
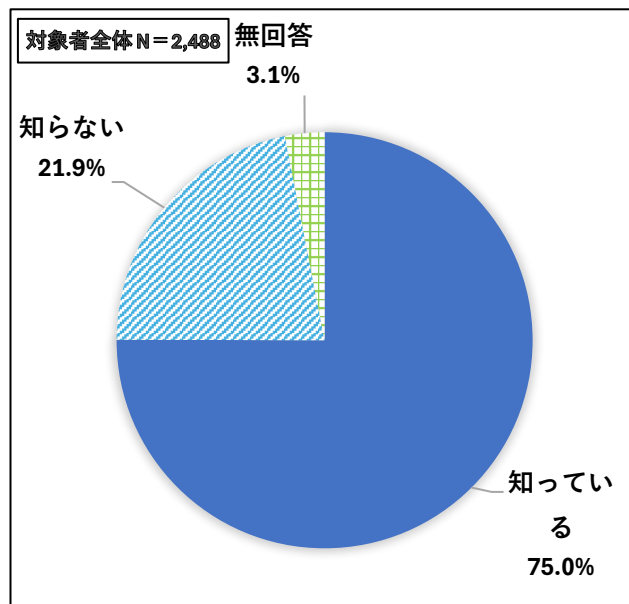


(2)雪対策の取り組みについて

◇新雪除雪の際、各世帯が雪の処理を行っていることの認知度

問10 あなたは、札幌市の新雪除雪により、自宅の玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理(道路部分の雪かき)を各世帯に行っていることを知っていますか。

新雪除雪の自宅の玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理(道路部分の雪かき)を各世帯に行っていることを「知っている」人は75.0%。



【全 体】新雪除雪の自宅の玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理(道路部分の雪かき)を各世帯に行っていることについて、「知っている」が75.0%、「知らない」が21.9%となっている。

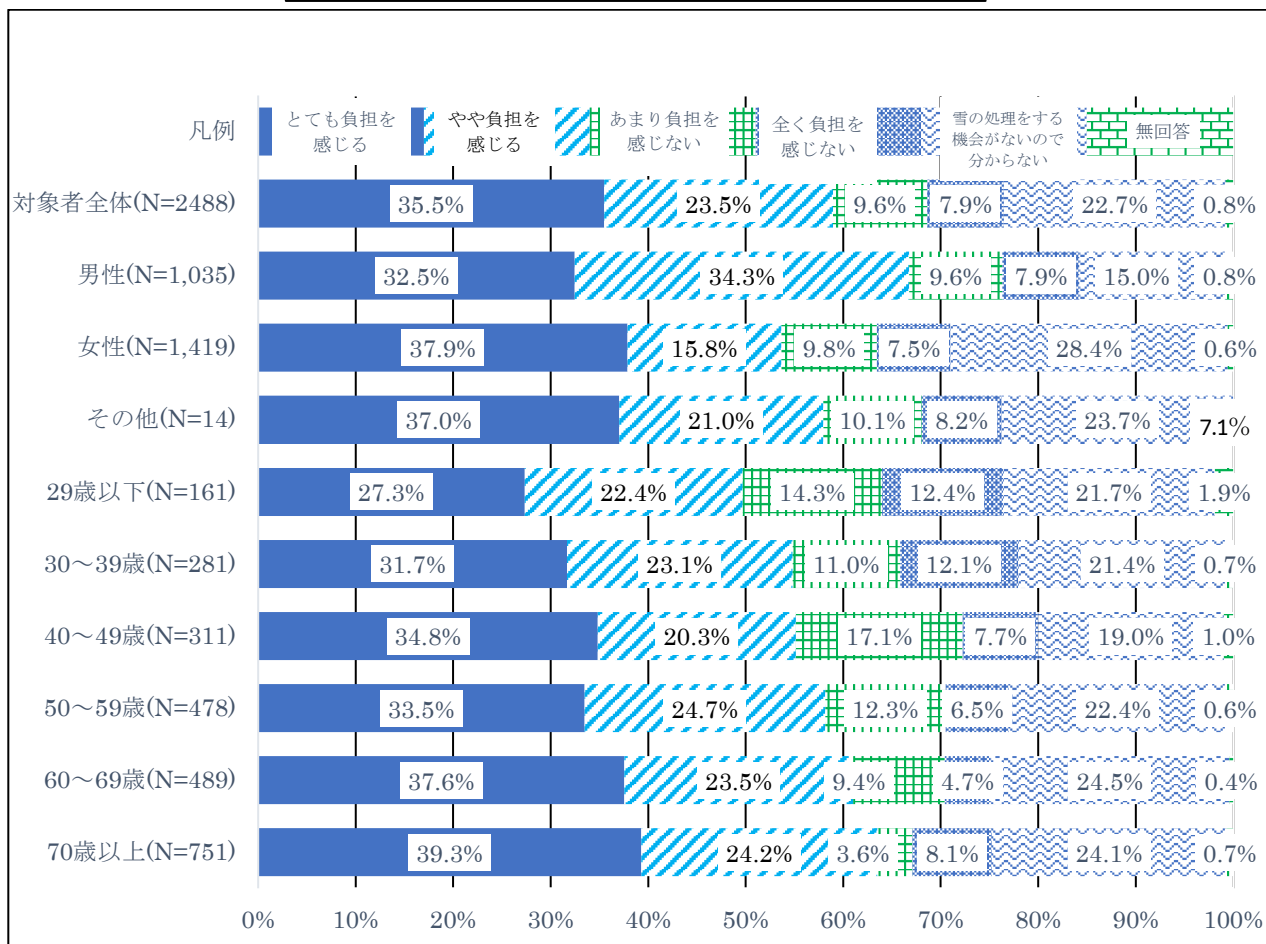
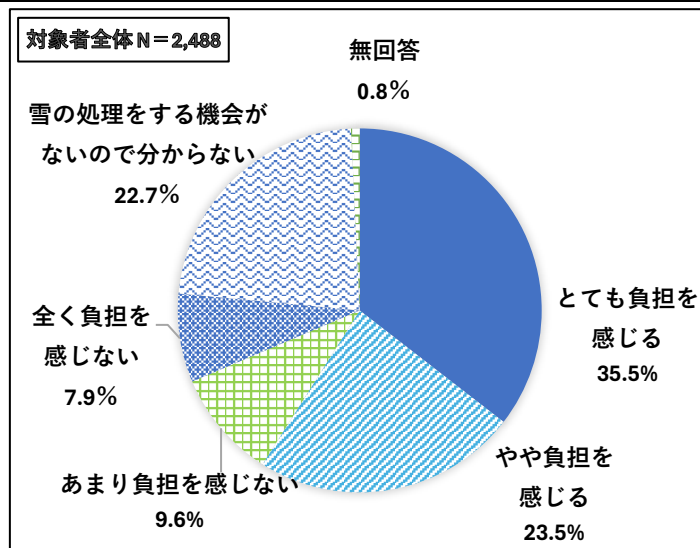
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「知っている」は29歳以下(78.9%)で最も高く、次いで30歳代(77.2%)、70歳以上(77.1%)となっている。

◇新雪除雪後に、自宅の玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理の負担感

問11 札幌市の新雪除雪後に、自宅の玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理(道路部分の雪かき)の負担感について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌市の新雪除雪後に、自宅の玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理(道路部分の雪かき)の負担感については、「とても負担に感じる」人が35.5%



【全 体】札幌市の新雪除雪後に、自宅の玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理(道路部分の雪かき)の負担感については、「とても負担に感じる」が35.5%、「やや負担に感じる」が23.5%となっている。

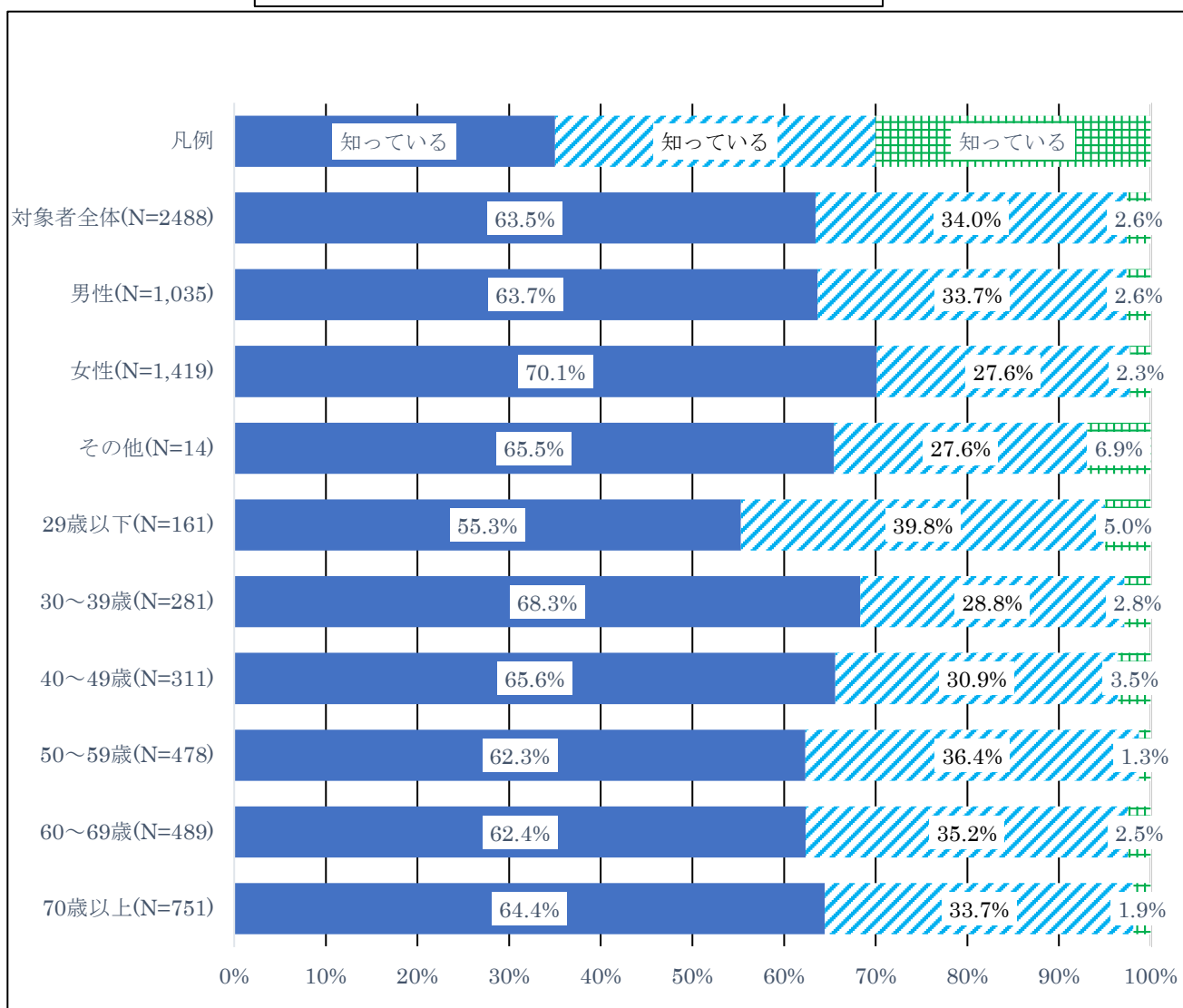
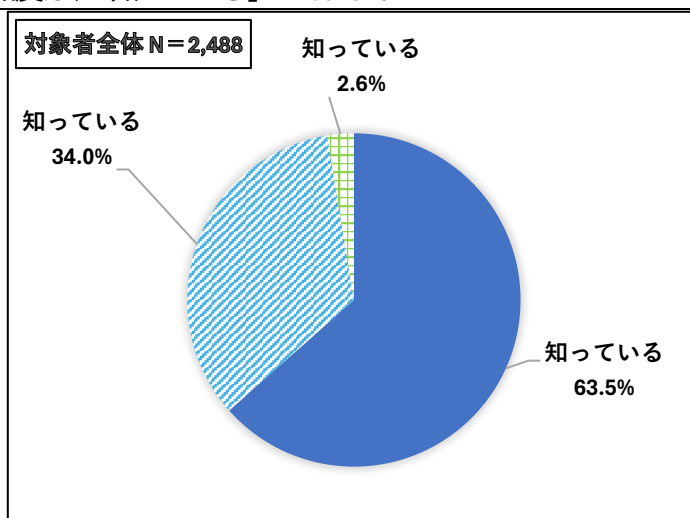
【性 別】「とても負担を感じる」が女性で37.9%と、男性の32.5%より5.4ポイント高くなっている。また「やや負担を感じる」は男性で34.3%と、女性の15.8%より18.5ポイント高くなっている。

【年代別】「とても負担に感じる」は70歳以上(39.3%)で最も高く、最も低い29歳以下(27.3%)と比べると12ポイントの差となっている。

◇「パートナーシップ排雪」や「市民助成トラック」の排雪支援制度の認知度

問12 あなたは、地域等の団体が生活道路の排雪を希望する場合、「パートナーシップ排雪」や「市民助成トラック」の排雪支援制度が利用できることを知っていますか。

排雪支援制度の認知度は、「知っている」が63.5%



【全 体】排雪支援制度の認知度は、「知っている」が63.5%、「知らない」が34.0%となっている。

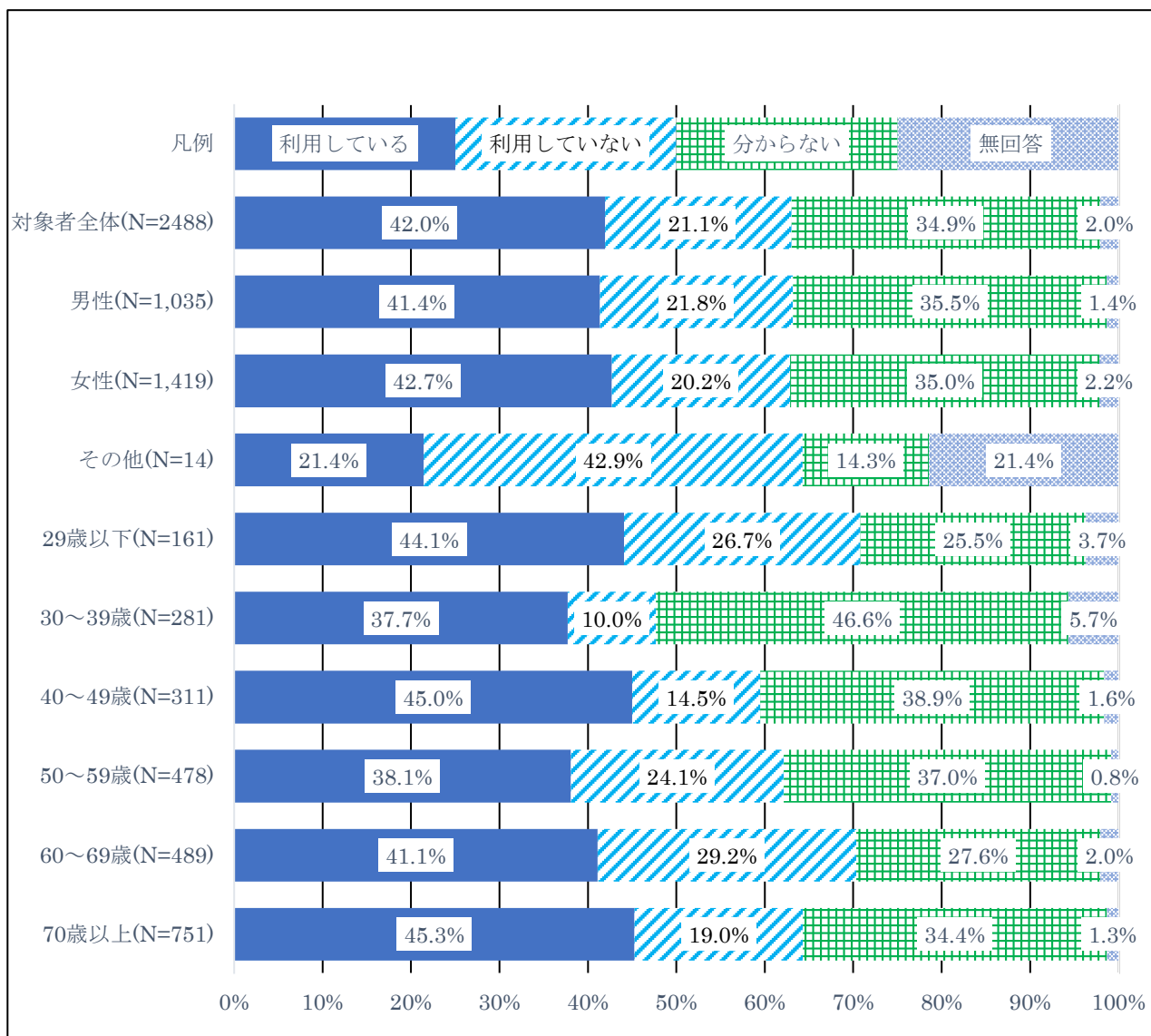
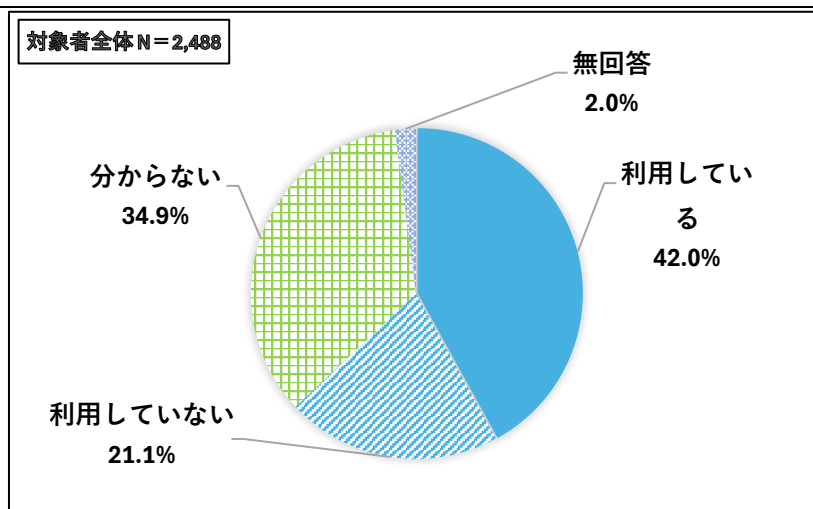
【性 別】「知っている」は女性で70.1%と、男性の63.7%より6.4ポイント高くなっている。

【年代別】「知っている」は30歳代(68.3%)で最も高く、最も低い29歳以下(55.3%)と比べると13ポイントの差となっている。

◇「パートナーシップ排雪」や「市民助成トラック」の排雪支援制度を利用しているか

問13 あなたの地域等では、「パートナーシップ排雪」や「市民助成トラック」の排雪支援制度を利用していますか。

排雪支援制度について、「利用している」人が42.0%



【全 体】排雪支援制度は、「利用している」が42.0%、「利用していない」が21.1%となっている。

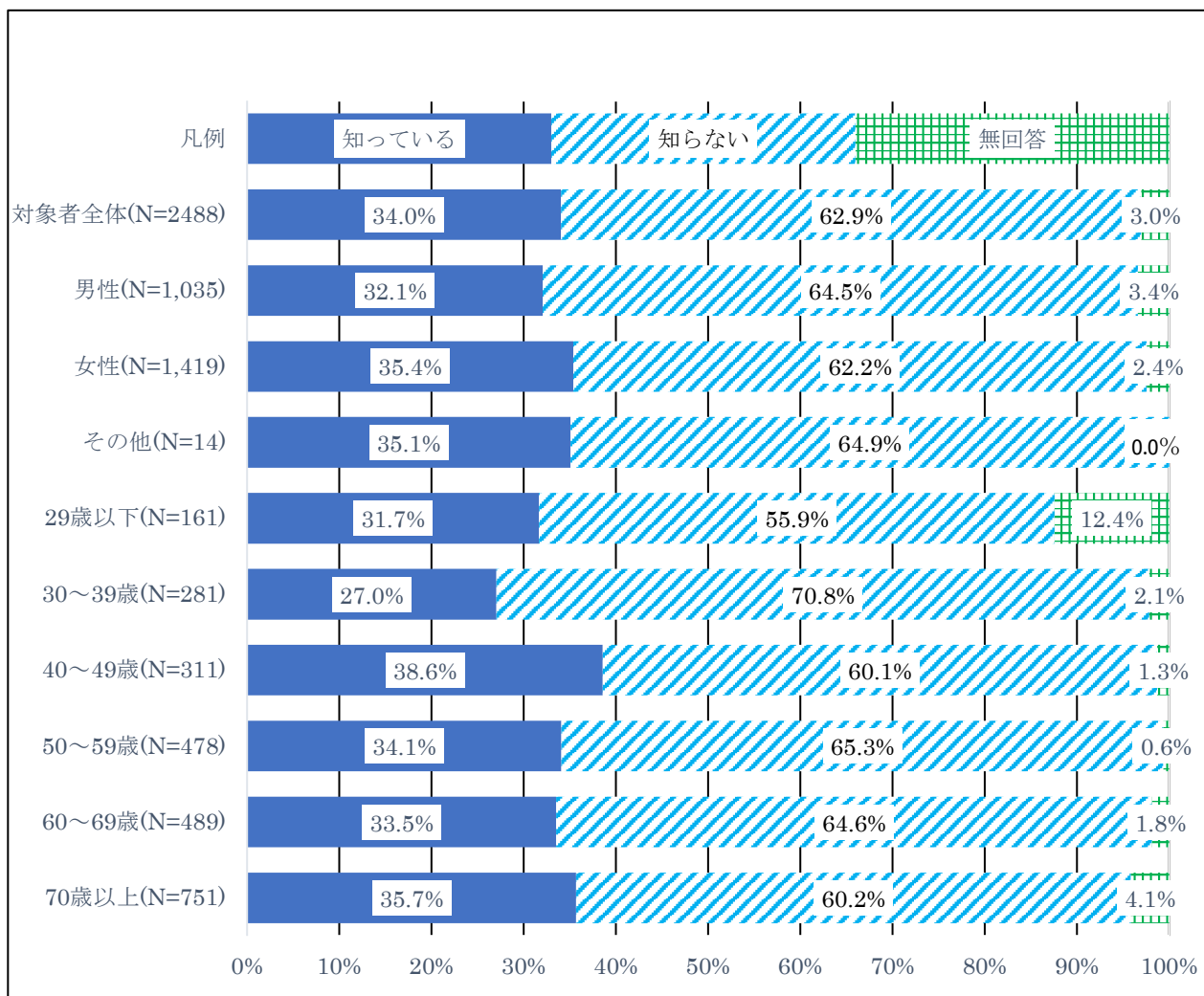
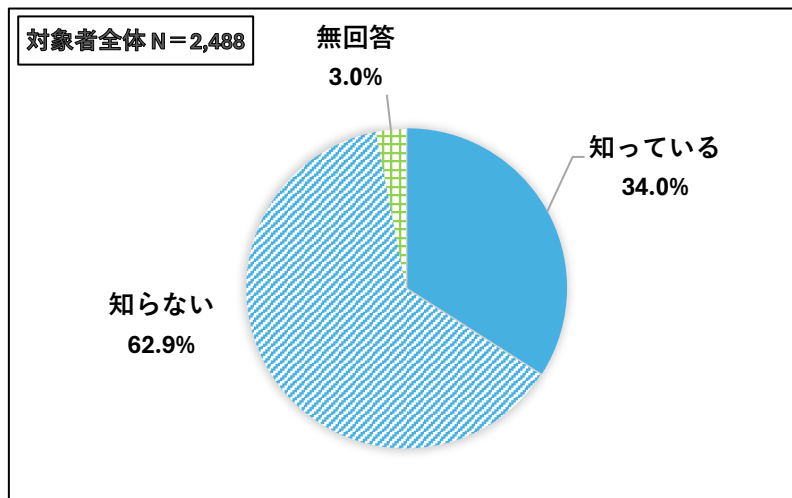
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「利用している」は70歳以上（45.3%）で最も高く、最も低い30歳代（37.7%）と比べると7.6ポイントの差となっている。

◇排雪支援制度の見直しや持続可能な生活道路除排雪に関する検討を進めていることの認知度

問14 あなたは、札幌市が現在、「パートナーシップ排雪」などの排雪支援制度の見直しや持続可能な生活道路除排雪に関する検討を進めていることを知っていますか。

排雪支援制度の見直しや持続可能な生活道路除排雪に関する検討を進めていることは、「知っている」人が34.0%



【全 体】排雪支援制度の見直しや持続可能な生活道路除排雪に関する検討を進めていることについて、「知っている」人が34.0%、「知らない」が62.9%となっている。

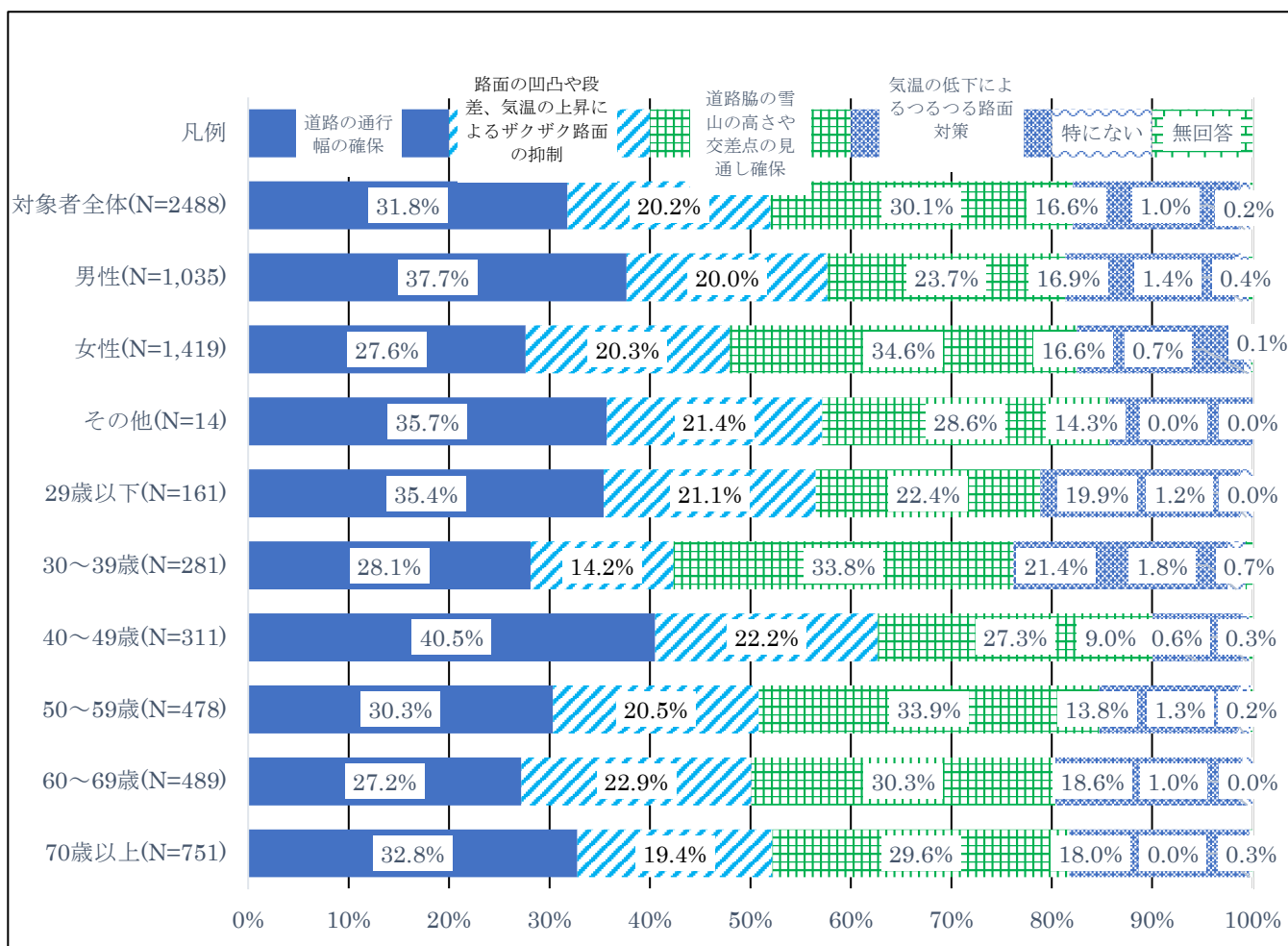
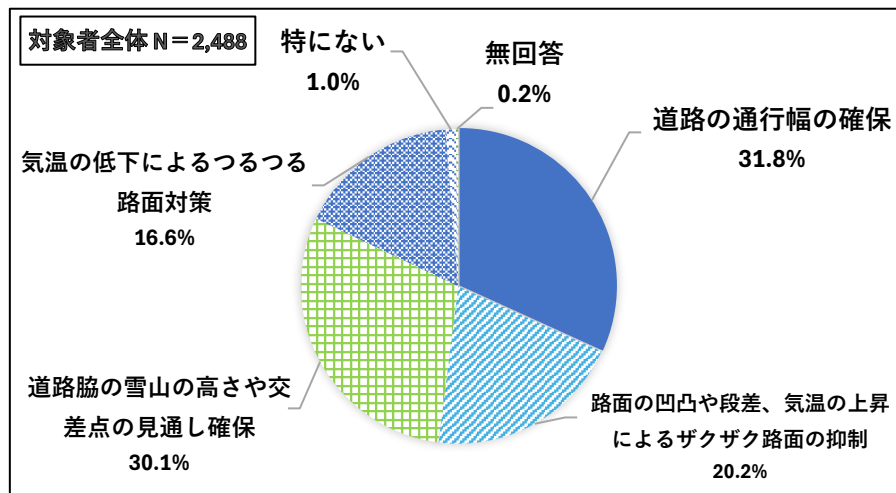
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「知っている」は40歳代(38.6%)で最も高く、次いで70歳以上(35.7%)、50歳代(34.1%)となっている。

◇冬期間の生活道路の状況で最も重視すべきだと思うもの

問15 冬期間の生活道路の状況について、以下のうちあなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。
あてはまるものに1だけ○をつけてください。

冬期間の生活道路の状況の改善のために重視すべき点は、「道路の通行幅の確保」と回答した人が31.8%



【全 体】冬期間の生活道路の状況の改善のために重視すべき点は、「道路の通行幅の確保」が31.8%、「道路脇の雪山の高さや交差点の見通し」が30.1%、「路面の凹凸や段差、気温の上昇によるザクザク路面の抑制」が20.2%となっている。

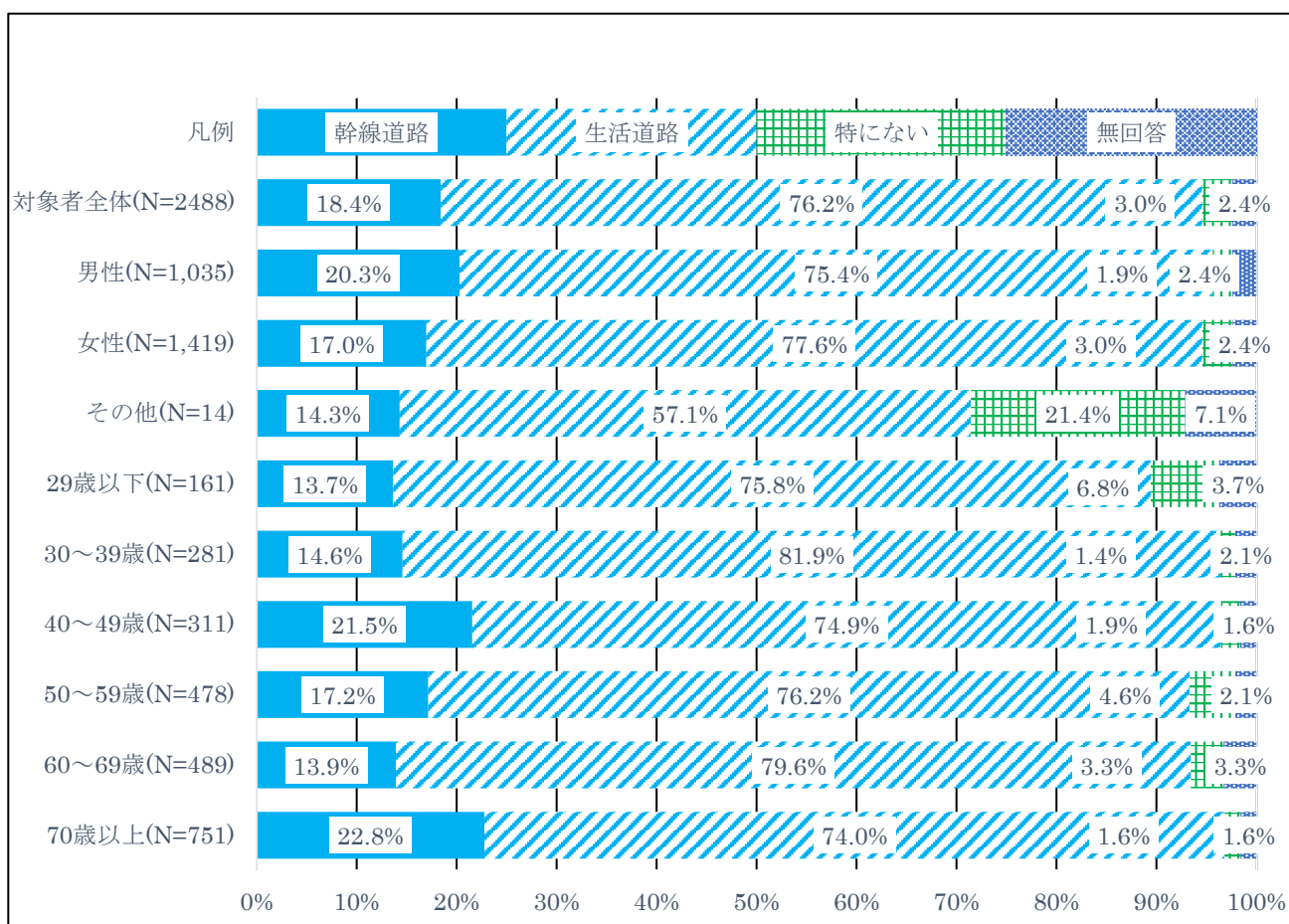
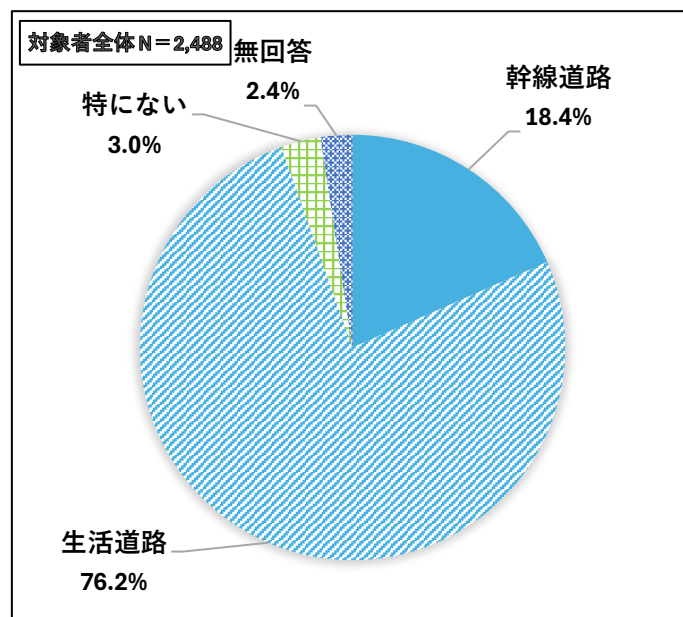
【性 別】「道路の通行幅の確保」は、男性が37.7%と、女性の27.6%より10.1ポイント高くなっている。また、「道路脇の雪山の高さや交差点の見通し確保」は女性が34.6%と、男性の23.7%より10.9ポイント高くなっている。

【年代別】29歳以下、40歳代、70歳以上では「道路の通行幅の確保」が最も高く、30歳代、50歳代、60歳代では「道路脇の雪山の高さや交差点の見通し確保」が最も高くなっている。

◇今後特に除排雪に力を入れてほしいと思う道路

問16 あなたが、今後特に除排雪に力を入れてほしいと思う道路はどこですか。あてはまるものに 1つだけ○をつけてください。

今後除排雪に力を入れて欲しい道路は、「生活道路」が76.2%



【全 体】 今後除排雪に力を入れてほしい道路は、「生活道路」が76.2%、「幹線道路」が18.4%となっている。

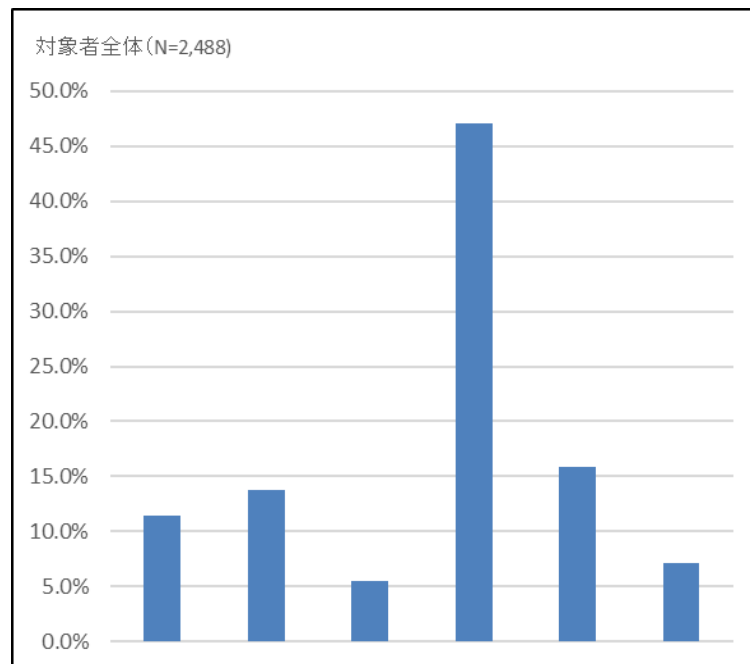
【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「生活道路」が30歳代(81.9%)で最も高く、次いで60歳代(79.6%)、29歳以下(75.8%)となっている。

◇大雪時や大雪が想定される時の行動

問17 あなたは、警報発表などの大雪時や大雪が想定されるときにどのような行動をとっていますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

大雪時や大雪が想定される時の行動は、「不要不急の車による外出を控えている」人が47.1%



		対象者数	通勤通学時に、移動手段を変更している	通勤通学時に、出発時間を早めるなど、時間に余裕を持った行動を取っている	差出勤、勤務形態や授業形態を変更している	不要不急の車による外出を控えている	特に普段と違う行動をとっていない	無回答
		(%)						
対象者全体		2,488	11.4%	13.8%	5.5%	47.1%	15.9%	7.1%
性別	男性	1,035	9.5%	11.2%	4.3%	43.1%	12.3%	6.9%
	女性	1,419	12.8%	15.9%	6.1%	51.0%	18.8%	7.3%
	その他	14	21.4%	7.1%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%
年代別	29歳以下	161	13.0%	13.0%	7.5%	34.8%	20.5%	15.5%
	30～39歳	281	12.8%	14.9%	5.0%	52.7%	18.1%	13.2%
	40～49歳	311	17.4%	20.3%	11.3%	73.6%	18.6%	13.2%
	50～59歳	478	8.6%	10.0%	5.6%	54.6%	8.6%	6.7%
	60～69歳	489	8.0%	10.2%	5.1%	23.9%	14.3%	4.5%
	70歳以上	751	12.3%	15.6%	2.8%	47.9%	19.0%	2.4%

【全 体】大雪時や大雪が想定される時の行動は、「不要普及の車による外出を控える」が 47.1%、「普段と違う行動を取っていない」が 15.9%、「通勤通学時に余裕を持った行動を取っている」が 13.8%となっている。

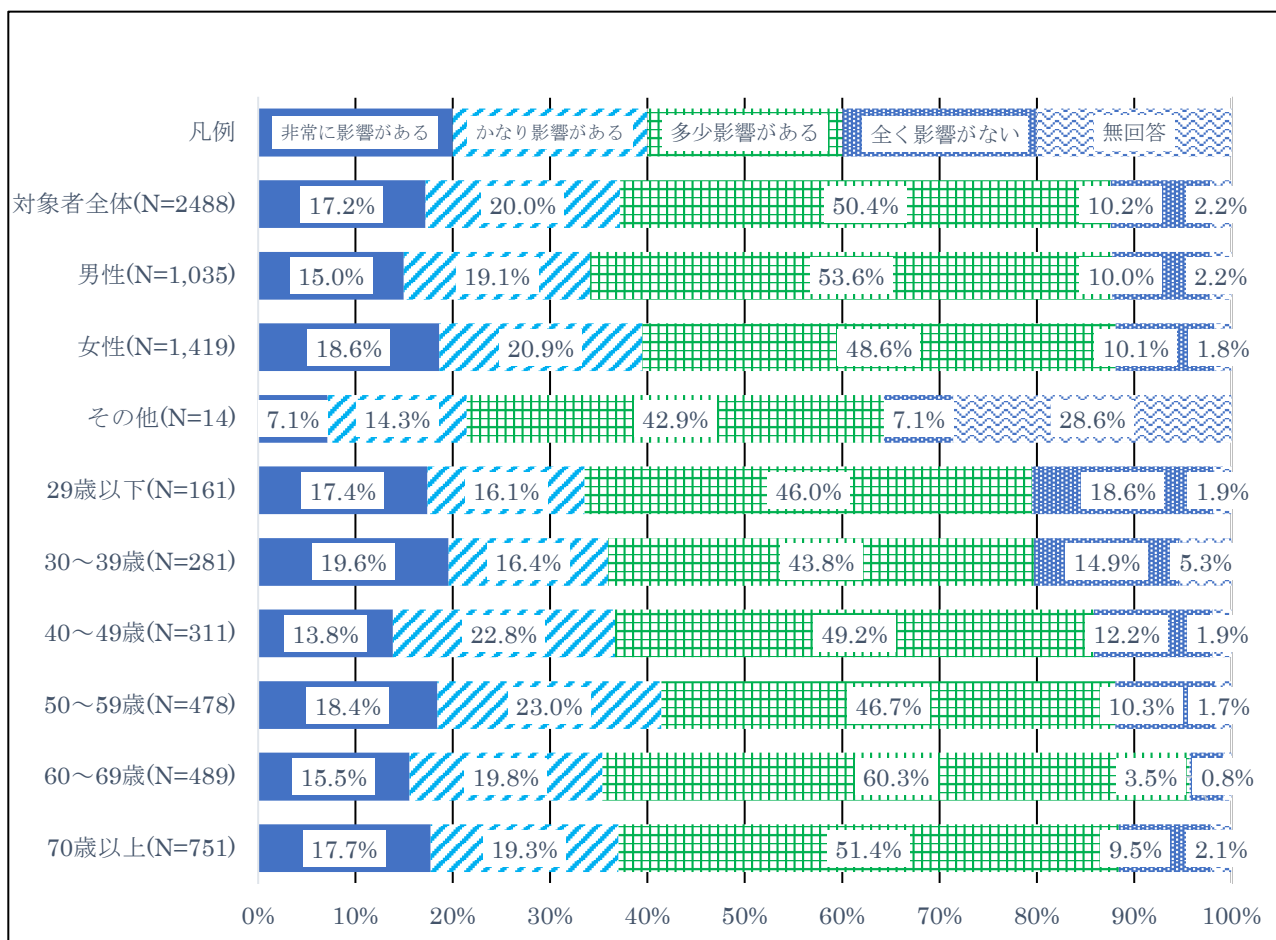
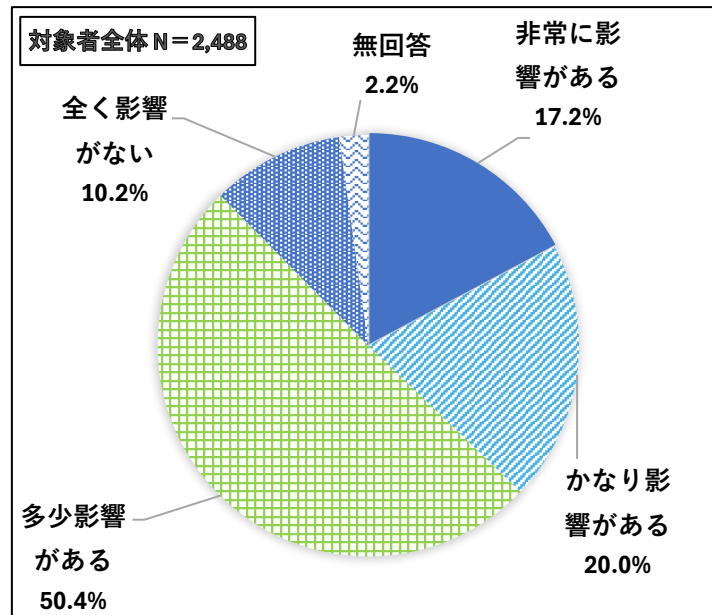
【性 別】「不要不急の車による外出を控えている」、「特に普段と違う行動はとっていない」は女性が男性より 6.5 ポイント以上高くなっている。

【年代別】「不要不急の車による外出を控えている」が 40 歳代 (73.6%) で最も高く、次いで 50 歳代 (54.6%)、30 歳代 (52.7%) となっている。

◇特異な気象による交通混雑や公共交通機関運休などによる影響

問18 近年、札幌市内では局地的な大雪や季節外れの急激な気温上昇など、特異な気象が見られます。これらの特異な気象は道路の交通混雑や公共交通機関の運休など、あなたにとってどの程度影響がありますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

特異な気象は道路の交通混雑や公共交通機関の運休の影響は「多少影響がある」人が50.4%



【全 体】 特異な気象は道路の交通混雑や公共交通機関の運休の影響は「多少影響がある」が50.4%、「かなり影響がある」が20.0%、「非常に影響がある」人が17.2%となっている

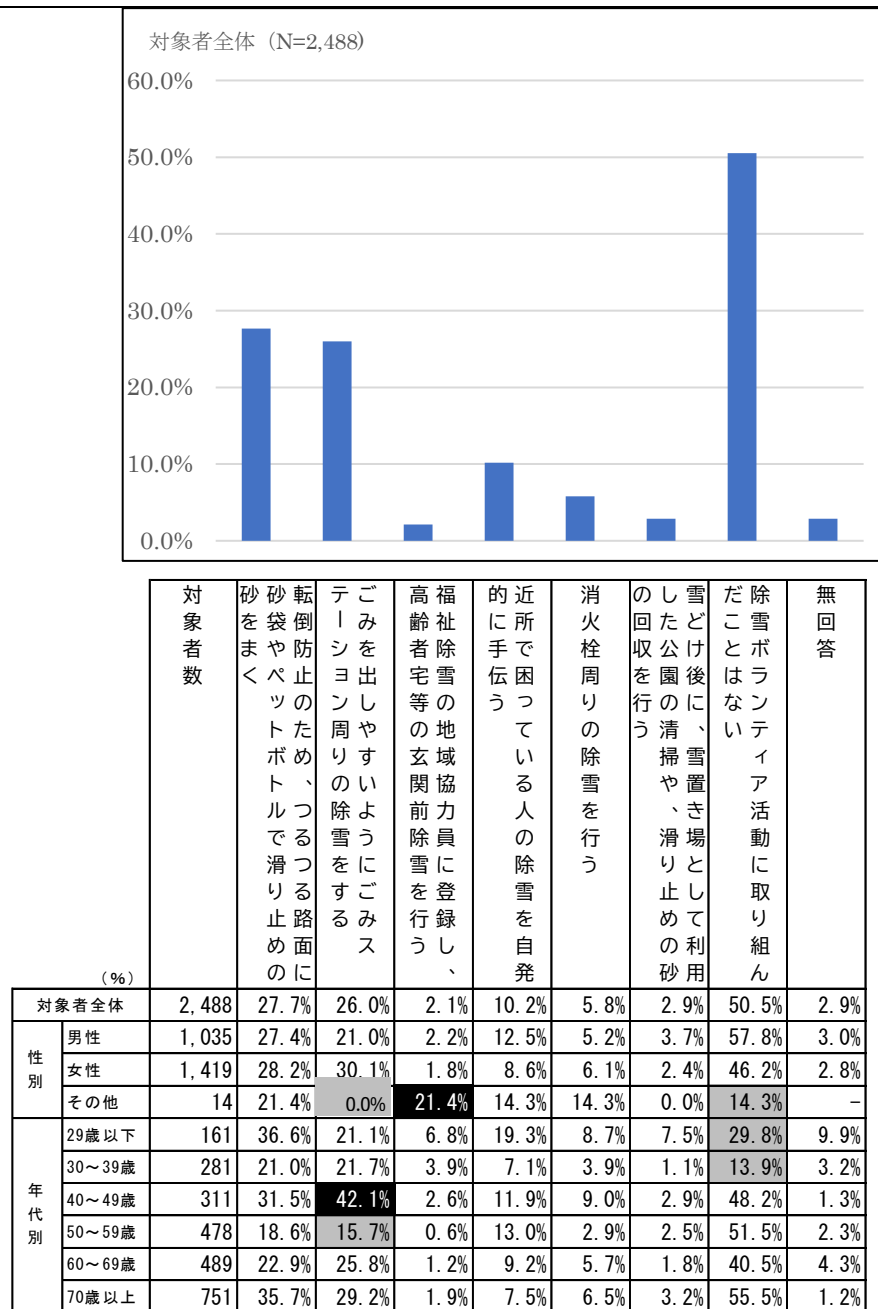
【性 別】 「多少影響がある」は男性で53.6%と、女性の48.6%より5.0ポイント高くなっている。

【年代別】 「多少影響がある」が60歳代(60.3%)で最も高く、次いで70歳以上(51.4%)、40歳代(49.2%)となっている。

◇これまでに取り組んだことがある除雪ボランティア活動

問19 札幌市では、市民の皆さまに「除雪ボランティア」への協力を呼び掛けています。以下のうち、あなたがこれまでに取り組んだことがある除雪ボランティア活動について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

取り組んだことのある除雪ボランティアは、「転倒防止のため、つるつる路面に砂袋やペットボトルで滑り止めの砂をまく」と回答した人が27.7%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】取り組んだことのある除雪ボランティアは、「転倒防止のため、つるつる路面に砂袋やペットボトルで滑り止めの砂をまく」が27.7%、「ごみを出しやすいようにごみステーション周りの除雪をする」が26.0%、「近所で困っている人の除雪を自発的に手伝う」が10.2%となっている。

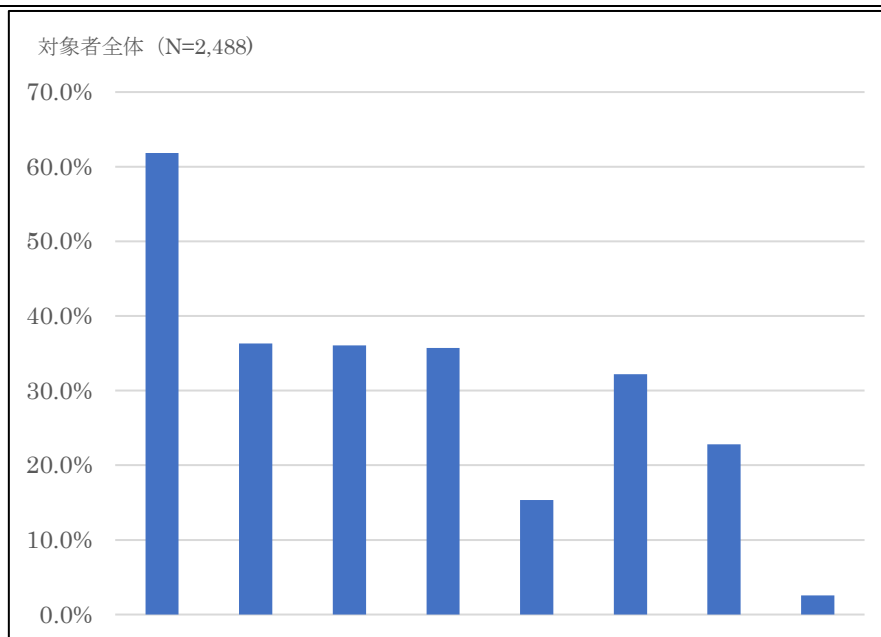
【性 別】「除雪ボランティア活動に取り組んだことはない」は、男性が57.8%と、女性の46.2%より11.6ポイント高くなっている。また、「ごみを出しやすいようにごみステーション周りの除雪をする」は女性が30.1%と、男性の21.0%より9.1ポイント高くなっている。

【年代別】「ごみを出しやすいようにごみステーション周りの除雪をする」は40歳代(42.1%)で最も高く、最も低い50歳代(15.7%)と比べると26.4ポイントの差となっている。

◇各種除雪ボランティア活動を推進するため、どのような取組が重要になるか

問20 あなたは、札幌市が各種除雪ボランティア活動を推進するため、どのような取組が重要になると思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

除雪ボランティア推進の重要な取り組みについて、「町内会など地域への働きかけ」と回答した人が61.8%



		対象者数	町内会など地域への働きかけ	企業や団体などへの働きかけ	学生など若い世代への働きかけ	活動に使用する除雪用具（スコップ、スノーダンプ、小型除雪機など）の貸出	活動の情報発信や広報・啓発	報奨（感謝状、ギフトカードなど）の提供による動機付け	その他	無回答
(%)										
対象者全体		2,488	61.8%	36.3%	36.1%	35.7%	15.4%	32.2%	22.8%	2.6%
性別	男性	1,035	53.0%	33.8%	43.1%	30.5%	12.0%	32.6%	28.4%	2.5%
	女性	1,419	69.1%	38.7%	31.5%	40.0%	17.7%	32.6%	18.5%	2.7%
	その他	14	21.4%	28.6%	7.1%	35.7%	14.3%	0.0%	35.7%	0.0%
年代別	29歳以下	161	64.0%	37.9%	34.8%	34.2%	9.9%	9.3%	8.1%	9.9%
	30～39歳	281	48.4%	45.6%	41.6%	34.9%	8.5%	5.3%	8.5%	3.2%
	40～49歳	311	64.6%	59.5%	26.7%	44.1%	13.2%	11.9%	11.6%	1.9%
	50～59歳	478	29.1%	18.8%	34.5%	20.9%	13.6%	35.8%	26.6%	0.6%
	60～69歳	489	67.5%	25.8%	28.8%	18.2%	17.8%	31.9%	20.0%	0.2%
	70歳以上	751	81.5%	41.1%	44.2%	54.3%	19.8%	53.5%	35.3%	3.5%

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】除雪ボランティア推進の重要な取り組みについて、61.8%が「町内会など地域への働きかけ」と回答。

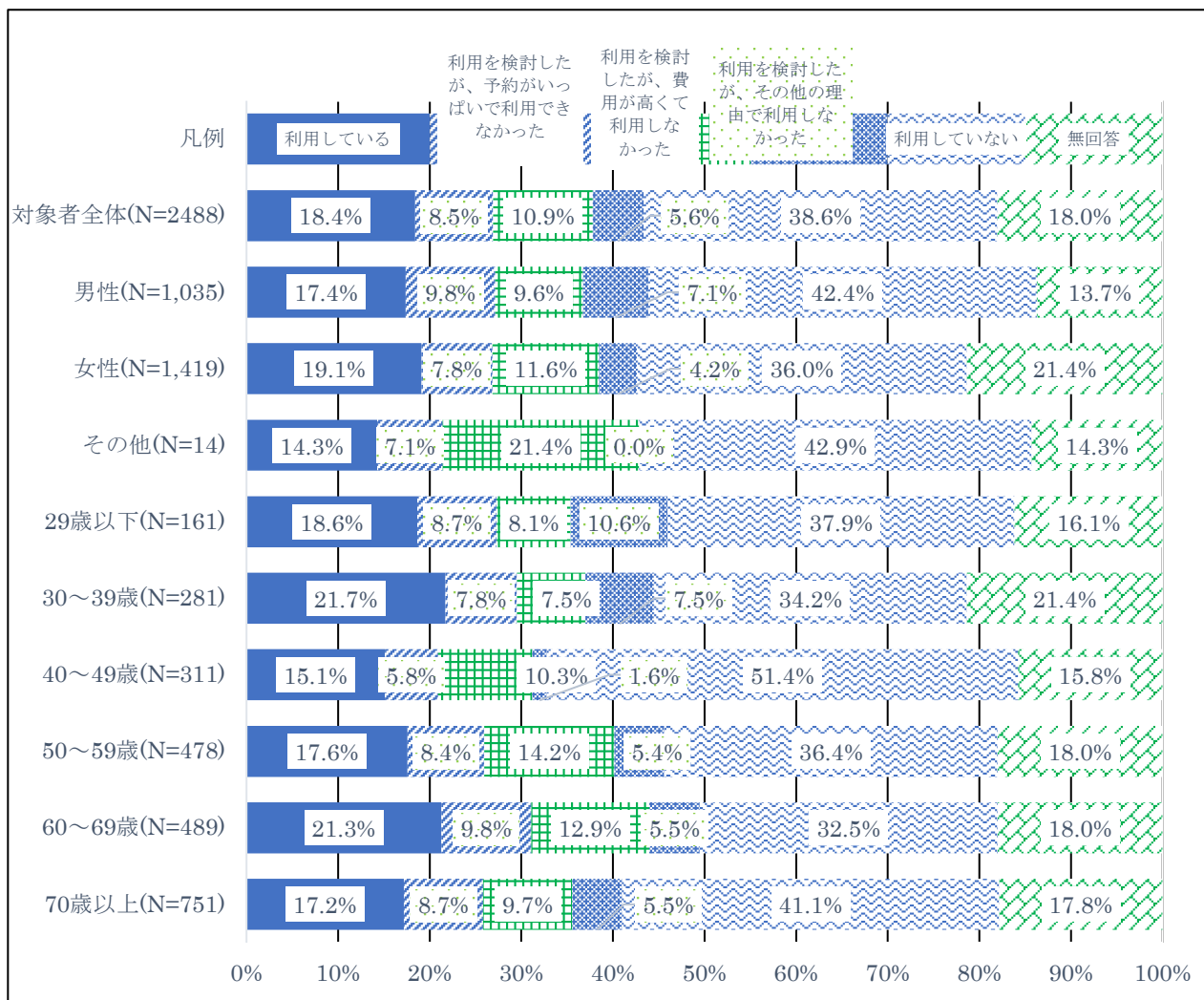
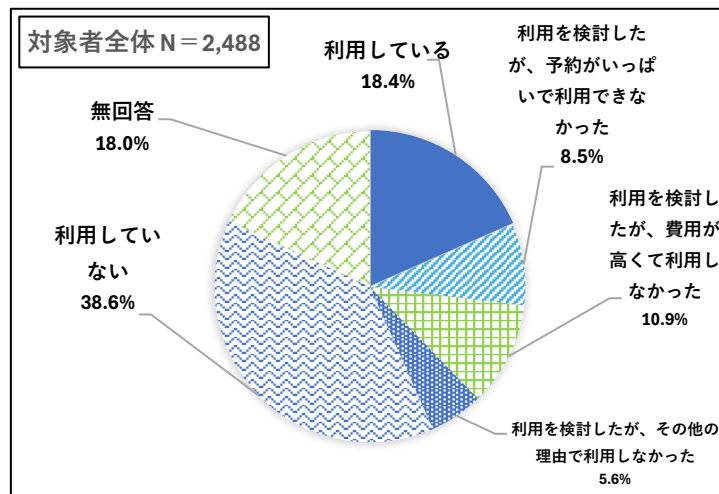
【性 別】「学生など若い世代への働きかけ」は男性が女性より 11.6 ポイント高く、「町内会など地域への働きかけ」「活動に使用する除雪用具の貸出」「活動の情報発信や広報・啓発」は女性が男性より 5.7 ポイント以上高くなっている。

【年代別】50 歳代(35.8%)では「報奨（感謝状、ギフトカードなど）の提供による動機付け」が最も高く、そのほかの世代では「町内会など地域への働きかけ」が最も高くなっている。

◇民間企業などの有料除排雪サービスを利用の有無

問21 あなたは、昨年度の冬に自宅前の雪を処理するため、民間企業などによる有料除排雪サービス(福祉除雪を除く)を利用しましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

民間企業などによる有料除排雪サービスは「利用している」人が18.4%



【全 体】民間企業などによる有料除排雪サービスについて、「利用している」が18.4%、「利用していない」が38.6%、「利用を検討したが、費用が高くて利用しなかった」が10.9%となっている。

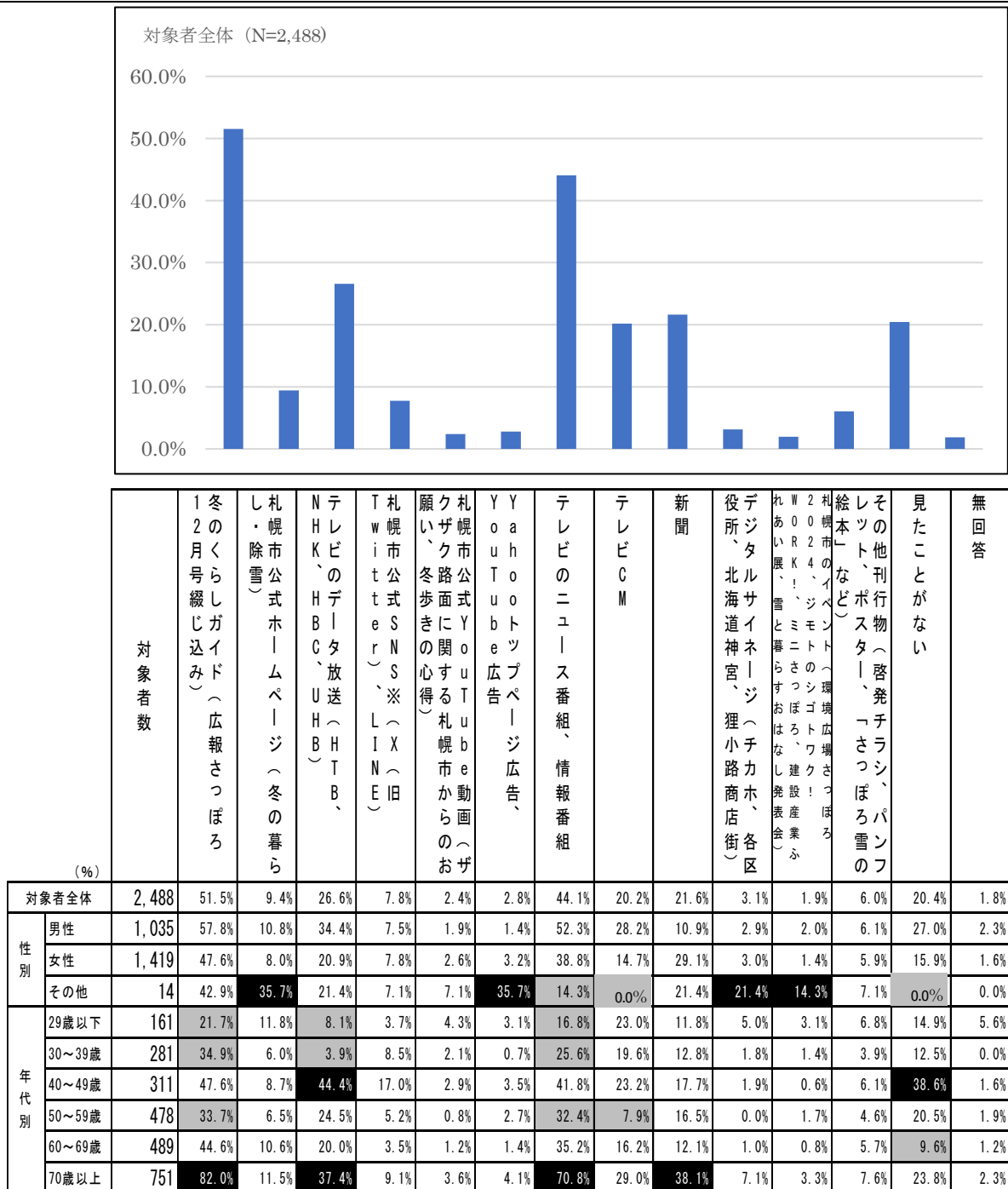
【性 別】「利用していない」が男性で42.4%と、女性の36.0%より6.4ポイント高くなっている。

【年代別】「利用している」が30歳代(21.7%)で最も高く、次いで60歳代(21.3%)、29歳以下(18.6%)となっている。

◇冬の暮らしに関する情報で見たことがあるものについて

問22 昨年度、冬の暮らしに関する情報(札幌市の除雪に関する情報や冬のルール、除雪の出動情報など)を以下のように発信しました。あなたが、見たことがあるものにいくつでも○を付けてください。

見たことがある冬の暮らしに関する情報は「冬のくらしガイド」が51.5%で最多



対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】見たことがある冬の暮らしに関する情報は「冬のくらしガイド」が51.5%で最多。次いで「テレビのニュース番組・情報番組」が44.1%であった。

【性 別】「冬の暮らしガイド」「テレビのデータ放送」「テレビのニュース番組・情報番組」を見た男性は女性よりも10.2ポイント以上高くなっている。

【年代別】29歳以下(23.0%)では「テレビCM」が最も高く、そのほかの年代では「冬のくらしガイド」が70歳以上(82.0%)、40歳代(47.6%)、60歳代(44.6%)の順に高くなっている。